

「アートと環境の未来・山口」
「YCAM 10周年記念祭」

2013年7月25日 プレスリリース

山口情報芸術センター [YCAM] 10周年記念祭
上映会／ライブ・パフォーマンス

「YCAM 爆音上映会」

2013年8月23日(金)～25日(日)
山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

繊細な大音響で映画を観る目が変わる— 全国で話題の「爆音上映」がYCAMに登場!

山口情報芸術センター [YCAM] では、高品質な大音量の中で映画を鑑賞する「YCAM 爆音上映会」を開催します。

「爆音上映」とは、映画批評家の樋口泰人が東京を拠点に全国各所で開催している上映イベントで、その名の通り、映画館にライブ・コンサート向けの大規模かつ高品質な音響機器をセッティングし、その環境に最適化された映画を大音量で鑑賞するものです。

今回、その爆音上映会を、日本屈指の音響環境を誇るYCAMで初めて開催。3日間に渡って、樋口が選定した8作品を爆音上映します。

また、映画のほかにも、音のないサイレント映画に、ミュージシャンが即興で音を付けていくライブ・パフォーマンス、上映作品の監督自らが作品について語るトークイベントも開催します。

繊細な大音響に身を委ねながら、映画を鑑賞する本イベントは、これまでなかなか気づくことのなかった作品内で追求されているサウンド面の「核心」を、物語や、画面上の構成とともに体感していく試みです。この機会にぜひ鑑賞ください。



上映作品のひとつ「右側に気をつけろ」(監督:ジャン=リュック・ゴダール)
©1987 Gaumont/Vega Film AG/TSR

■ 上映作品

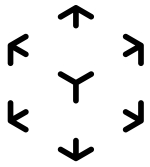
- ・ジャンゴ 繋がれざる者
- ・ブンミおじさんの森
- ・右側に気をつけろ
- ・We Can't Go Home Again
- ・コンボイ
- ・国道20号線
- ・RAP IN TONDO

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしく願い申し上げます。



山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM] 情報制作課 田中・澤田
TEL:083-901-2222 FAX:083-901-2216 メールアドレス:press@ycam.jp
〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>
取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



爆音上映—映像と音／音楽に焦点を当て、その関係性を体感する

「爆音上映」とは、映画批評家の樋口泰人が2004年に開始した映画上映会のスタイルです。ライブ・コンサート用の音響機材を最大限に活用し、高品質かつ大音量の音響環境で映画作品のサウンド面における核心を追求していくこのスタイルは、一般的な映画館での鑑賞でもなかなか聴こえてこないサウンドを露わにし、これまでに観たことのある映画であったとしても、全く新しい映画として新鮮に感覚させる力を持っています。まさに体感する上映とも言える「爆音上映」は、東京都にある吉祥寺バウスシアターを中心に、現在では全国各地で開催され、絶大な支持を集めています。今回、日本屈指の音響設備を誇るYCAMを舞台に、樋口が選定した実験的で刺激的な8作品を3日間に渡って上映します。

■ 樋口泰人

1957年生まれ。映画批評、boid主宰。「カイエ・デュ・シネマ・ジャポン」編集委員を経て、98年に個人レーベルboid（ボイド）を設立。執筆活動と並行して、ドキュメンタリー・ビデオ、書籍、音楽CDの企画・製作、映画の配給・宣伝を手掛ける。04年から吉祥寺バウスシアターでライブ音響システムを使用した「爆音上映」のイベントを開始、さらに08年からは毎年「爆音映画祭」(www.bakuon-bb.net)も開催している。著作に『映画とロックンロールにおいてアメリカと合衆国はいかに闘ったか』(青土社刊)がある。

23日(金)の上映作品



12:00 -

「ジャンゴ 繋がれざる者」(爆音初上映)

2012年／165分／アメリカ／35mm／R15+

監督：クエンティン・タランティーノ

出演：ジェイミー・フォックス、レオナルド・ディカプリオ、
クリストフ・ヴァルツ

南北戦争勃発直前のアメリカ南部を舞台に奴隷のジャンゴが、賞金稼ぎのキング・シュルツと共に同じく奴隷となった妻を取り戻す為に奮闘する姿を描く。作品全編を通して繰り広げられる銃撃戦をはじめ、タランティーノならではの演出で見応えたっぷりのウエスタン。



16:00 -

「ブンミおじさんの森」

2010年／114分／

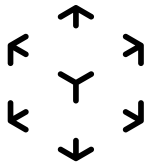
イギリス・タイ・フランス・ドイツ・スペイン／35mm

監督：アピチャップン・ウィラーセタクン

出演：タナバット・サイサイマー、ジェンチラー・ボンバス

ある夜、死を間近にしたブンミおじさんが家族と共に食事をしていると、19年前に亡くなった妻が現れる…。時にユーモアを交えながらも、生と死に対する独自の洞察が、心に深く刻まれる傑作。

©A Kick the Machine Films



24日(土)の上映作品

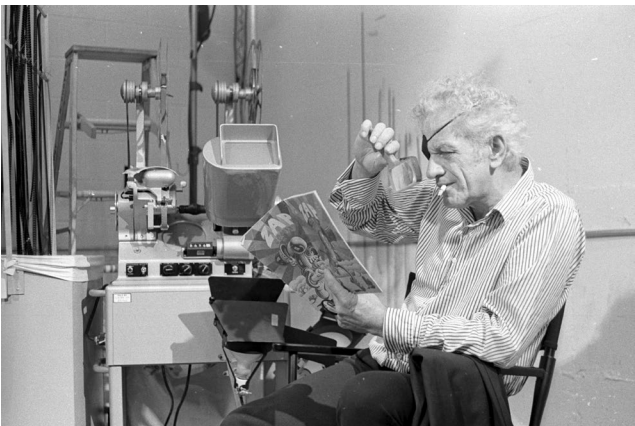


©1987 Gaumont/Vega Film AG/TSR

15:30 -
「右側に気をつけろ」

1987年／81分／フランス／デジタル
監督：ジャン＝リュック・ゴダール
出演：ジャン＝リュック・ゴダール、フランソワ・ペリエ

ゴダールが演じる白痴と呼ばれる男、新しい音を求めるミュージシャン、異星人のような男の3人を主軸にした3つの物語が同時進行していく。ゴダール特有の実験的な音と映像の組み合わせにおいても、決して、見逃す事のできない映画史上、重要な作品。



©2011 by Charlie Levi

18:00 -
「We Can't Go Home Again」

1976年／93分／アメリカ／デジタル
監督：ニコラス・レイ

ニューヨーク州立大学ビンガムトン校の映画学校の講師として招かれたニコラス・レイが学生たちをキャストやスタッフに起用して監督した作品。1973年に未完成のまま、カンヌ国際映画祭で上映されたが、2011年、夫人であるスーザン・レイによって復元版が完成、公開された。

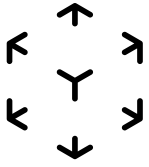


©1978 THE MKR GROUP INC. ALL RIGHTS RESERVED.

20:30 -
「ゾンビ」(HDリマスター・ディレクターズカット版)

1978年／139分／アメリカ・イタリア／デジタル
監督：ジョージ・A・ロメロ
出演：デヴィッド・エムゲ、ケン・フォーリー

死体のまま蘇ったゾンビが次々と人々を襲い始めた都市から、脱出を試みようとする若者たちの姿を描く。1978年の公開以来、絶大なる人気を誇る本作は、監督である、ジョージ・A・ロメロの名を世界に知らしめた。



25日(日)の上映作品



©Studiocanal

10:15 -
「コンボイ」(爆音初上映)

1978年／110分／アメリカ／35mmフィルム

監督：サム・ペキンパー

出演：クリス・クリストファーソン、アリ・マッグロー

フィルム提供：東京国立近代美術館フィルムセンター

トラックの運転手たちが、ふとしたきっかけで、保安官とトラブルになってしまった…。無線でそれを知ったトラック仲間が結成したコンボイと保安官の攻防、そして、それを利用しようとする人々の人間模様を描く。



©KUZOKU-All right reserved

13:15 -
「国道20号線」

2007年／77分／日本／デジタル

監督：富田克也 脚本：相澤虎之助

出演：伊藤仁、りみ、鷹野毅

かつて、暴走族だったヒサシは同棲するジュンコとパチンコに通う日々。そんな彼に昔からの友人小澤がある話を持ちかける…。国道20号線沿いにある原色のネオンを不気味に映し出しながら、走りさるバイクの轟音が、スクリーン全面から押し寄せてくる迫力の一作。

15:30 -
「RAP IN TONDO」+空族トークイベント

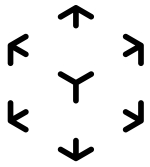
2011年／60分／デジタル

企画：富田克也 撮影：富田克也、河上健太郎

構成・編集：高野貴子

空族制作ドキュメンタリー。フィリピンのトンド地区に招かれた日本のヒップホップグループのメンバーと地元のヒップホップのコミュニティの交流を描く。また、上映終了後には空族の富田克也と相澤虎之助によるトークイベントも開催。

※本上映会にご入場いただいた方のみ参加いただけます。



YCAMでしか体験することの出来ない上映×ライブ



左から23日のライブ・パフォーマンスに出演する牧野貴とジム・オルーク、
24日に出演するHair Stylistics (中原昌也)

さらに今回、映画上映とはまた異なるアプローチから、映画における映像と音の関係性を掘り下げるべく、サイレントの映画や映像を上映しながら、ミュージシャンが即興で音を組み合わせしていくライブ・パフォーマンスも開催します。

8月23日(金) 19:30- 牧野貴+ジム・オルーク ライブ上映

映像作家の牧野貴の作品「still in cosmos (スティル・イン・コスモス)」と「Generator (ジェネレーター)」を上映した後、これらの作品で音楽を担当した音楽家のジム・オルークと牧野によるライブ上映「Space Noise (スペース・ノイズ)」を披露します。この「Space Noise」は、プロジェクターと16ミリ映写機、スモークマシンを使用した上映+ライブパフォーマンスで、虹色の光線に包まれる空間の中、作家が演奏をおこない、その場でしか発生し得ない映画体験を創造します。

8月24日(金) 13:30- Hair Stylistics 無声映画ライブ

音楽家のほかにも作家としても知られるHair Stylistics (中原昌也)が、無声映画に即興で音をつけていきます。上映する映画は、スペイン／メキシコの映画監督ルイス・ブニュエルが、画家のサルバドール・ダリとともに演出した前衛的な作品「ルイス・ブニュエルの黄金時代」(1932年)。観るものに迫るダイナミックな映像が、Hair Stylisticsの演奏によって変容していきます。

■ 牧野貴

映画作家。2001年日大芸術学部映画学科撮影・現像コース卒業後、単独で渡英、ブラザーズ・クエイに師事。主に映画音楽と撮影、照明について学ぶ。その後舞台照明作家として全国を旅し、東京芸術劇場、全国のメルバホール等で照明を担当。2005年より単独上映会を開始。フィルム、ビデオを駆使した、実験的要素の極めて高い、濃密な抽象性を持ちながらも、鑑賞者に物語を感じさせる有機的な映画を制作している。

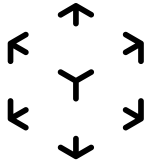
■ ジム・オルーク

音楽家。1969年シカゴ生まれ。ソロ作品を発表する傍ら、坂田明、フェネス、オーレン・アンバーチなどのコラボレーションや、ジョン・フェイス、ステレオ・ラヴ、ファウスト、ソニック・ユースなどをプロデュース、2004年には、『Wilco/A ghost is born』のプロデューサーとしてグラミー賞を受賞している。

また、ヴェルナー・ヘルツォーク、オリヴィエ・アサイヤス、若松孝二などの映画作品のサウンドトラックを担当。映画監督としても活動し、2004年と2006年にはホイットニー・ビエンナーレで、その作品が上映されている。

■ Hair Stylistics (中原昌也)

音楽家、小説家。1970年東京都生まれ。88年頃よりMTRやサンプラーを用いて音楽制作を開始。90年、アメリカのインディペンデントレーベルから「暴力温泉芸者=Violent Onsen Geisha」名義でスプリットをリリース。ソニック・ユース、バック、ジョン・スペンサー・ブルース・エクスプロージョンらの来日公演でオープニング・アクトに指名され、95年のアメリカツアーを始め海外公演を重ねるなど、日本以外での評価も高い。97年からユニット名を「Hair Stylistics」に改め活動、自らアートワークを手がけた数多くのCDやCD-Rのシリーズを発売している。音楽活動と並行して小説、映画評論も手掛け、2001年に『あらゆる場所に花束が……』(新潮社)で三島由紀夫賞を受賞。最新作は、映画評「エーガ界に捧ぐ」。



「アートと環境の未来・山口」
「YCAM 10周年記念祭」

2013年7月25日 プレスリリース

山口情報芸術センター [YCAM] 10周年記念祭
上映会／ライブ・パフォーマンス

開催概要

「YCAM 爆音上映会」

2013年8月23日（金）—25日（日）

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

※未就学児童入場不可

上映作品：

8月23日（金）

12:00 - 「ジャンゴ 繋がれざる者」

16:00 - 「ブンミおじさんの森」

19:30 - 関連イベント：牧野貴+ジム・オルーク ライブ上映

8月24日（土）

13:30 - 関連イベント：Hair Stylistics（中原昌也）無声映画ライブ

15:30 - 「右側に気をつける」

18:00 - 「We Can't Go Home Again」

20:30 - 「ゾンビ」

8月25日（日）

10:15 - 「コンボイ」

13:15 - 「国道20号線」

15:30 - 「RAP IN TONDO」+空族トークイベント

監修：樋口泰人 (boid)

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市教育委員会

平成25年度文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業

協力：東京国立近代美術館フィルムセンター、ジェネス企画、アダンソニア

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

■ チケット情報

発売日：発売中

料金 [全席自由]：

一般 1,300円

any会員／25歳以下／特別割引
800円

[回数券 (3回)]

一般 3,000円

any会員／25歳以下／特別割引
2,100円

[関連イベント]

前売 一般 2,500円

any会員／25歳以下／特別割引
2,000円

当日 3,000円 ※当日は各種割引対象外

※回数券は電話／窓口の販売のみとなります。

※8月25日（日）「RAP IN TONDO」+空族トークイベントは無料。ただし、上映会に来場された方しか参加いただけませんので、半券をご持参ください。

※未就学児入場不可

※特別割引：シニア（65歳以上）、障がい者及び同行の介護者1名が対象

電話／窓口：

山口市文化振興財団チケットインフォメーション

083-920-6111

10:00-19:00 ※火曜休館、祝日の場合は翌日

インターネット：

www.ycfcp.or.jp

24時間受付※要事前登録

■ 関連イベント

牧野貴+ジム・オルーク ライブ上映

出演：牧野貴、ジム・オルーク

上映作品：「still in cosmos」、「Generator」、「Space Noise」（ライブ上映）

日時：8月23日（金）19:30開演（30分前開場）

会場：山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

Hair Stylistics（中原昌也）無声映画ライブ

出演：Hair Stylistics（中原昌也）

上映作品：「ルイス・ブニュエルの黄金時代」

日時：8月24日（土）13:30開演（30分前開場）

会場：山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

託児サービス

関連イベント

対象：0才（6ヶ月）以上

託児時間：開始30分前から終了30分後まで

料金：お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

申込方法：8月16日（金）までにチケットインフォメーションまでお申し込みください。

その他の上映

一部託児あり。事前にお問い合わせください。

車椅子席・補聴システム

事前にお問い合わせください